

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために

Inspiring transformation; shaping the future and creating happiness.

第94期

# 中間報告書

2022年4月1日から2022年9月30日まで



## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第94期中間期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の決算をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期は、電子部品や樹脂部品の調達難や原材料価格の高騰、物流混乱の常態化、ウクライナ情勢の長期化、急激な物価上昇による需要減少など極めて厳しい状況のなか、お客様への確実な製品供給に努めるとともに、当期が最終年度となる中期事業計画「R1」で掲げた目標の達成に向けて、技術VEIによるコスト削減、徹底的な経費削減など原材料価格高騰に対するレジリエンスの強化と販売価格の見直し、新規深耕開拓に取り組むなど、現行ビジネスの安定化と利益ある成長に向けた取り組みを推し進めました。また、ニッケル水素電池は大型蓄電池向けニッケル水素電池用極板の出荷、アルカリ乾電池はウルトラマンおよびウルトラセブンをデザインした乾電池の発売やミニ四駆ジャパンカップへの継続協賛など商品開発・販売促進に努めました。

中間期の経営成績につきましては、売上高は、アルカリ乾電池で2020年度に実施した海外製造子会社株式譲渡に伴う海外向け売上減と設備関連ビジネスの減少がございましたが、リチウム電池とニッケル水素電池の販売価格見直しや円安効果による増加と電子事業の各種モジュール、スイッチング電源の増加により、前年同期に比べ11億64百万円増の317億34百万円となりました。営業利益は各種モジュールの売上げ増、経費削減や円安効果による利益増加がございましたが、原材料価格高騰の影響が大きく、前年同期に比べ7億22百万円減の6億70百万円となりました。経常利益は前年同期に比べ4億62百万円減の8億39百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は補助金収入2億円を特別利益として計上したものの、前年同期に4億59百万円の関係会社清算益を特別利益として計上したことや法人税等調整額の増加により前年同期に比べ8億58百万円減の5億83百万円となりました。

中間配当につきましては、未だ欠損状態でありますので、誠に遺憾ではございますが、見送らせていただきたいと存じます。株主の皆様には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

下期以降の見通しにつきましては、当社グループを取り巻く経営環境はさらに厳しい状況で推移すると想定され、円安効果につきましても海外向けの売上を押し上げる一方で、原材料価格および光熱費高騰への影響も大きく、収益好転影響が限定的で厳しい経営環境となる見通しです。このような経営環境におきましても残り少ない期間での中期事業計画「R1」の達成に向け、電池事業では外的リスクの最小化に向けた原価低減の推進、売上と利益の拡大、材料確保等の徹底を行なうことで強固な事業基盤を確立してまいります。また、電子事業では保有技術に磨きをかけ、差別化を図ることで製品競争力を向上させ、事業価値向上を図ってまいります。新事業として位置付けているSMD対応小型全固体電池につきましては、顧客仕様に合わせた開発の促進と品質改善をさらに加速させ、ニッケル亜鉛電池や水素/空気二次電池につきましても、実用化に向けた開発の推進とビジネスプランの策定を推し進めてまいります。

「進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために」という経営理念のもと、全てのステークホルダーの方に満足いただく「And Game」の実現のため、従業員各自が自律的にお客様に満足いただける努力を怠らない企業文化の醸成を加速させ、企業価値の向上に繋げてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き当社グループをご支援賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

長野 良

## Profile プロフィール

1961年 9月 7日生まれ  
1985年 4月 富士通(株)入社  
2019年 4月 当社執行役員常務  
2019年 6月 当社代表取締役社長

2022年12月

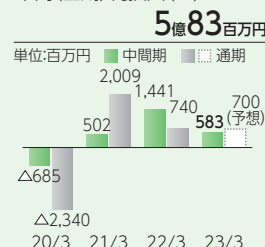
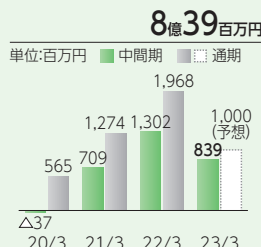
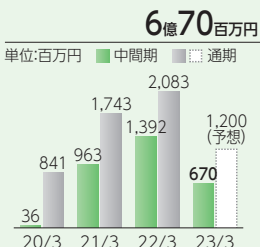
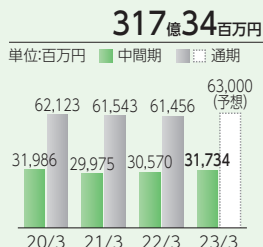
## 連結決算ハイライト

売上高

営業利益

経常利益又は経常損失(△)

親会社株主に帰属する中間(当期)純利益又は親会社株主に帰属する中間(当期)純損失(△)



## 事業別の概況

### 電池事業

電池事業の売上高はリチウム電池とニッケル水素電池が増加したものの、アルカリ乾電池と設備関連ビジネスが減少したことにより、前年同期を下回りました。

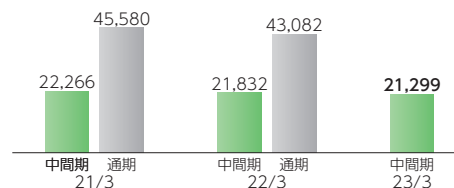
製品別につきましては、アルカリ乾電池は、2020年度に実施した海外製造子会社株式譲渡による海外向けや国内同業他社向けが減少したことにより、前年同期を下回りました。設備関連ビジネスは、販売機種の変化などにより、前年同期を下回りました。リチウム電池は、国内外で部品調達難による所要減がありましたが、国内外のセキュリティ・スマートメータ用途向けが堅調で販売価格の見直しや円安効果も加わったことにより、前年同期を上回りました。ニッケル水素電池は、国内外で在庫調整やお客様側での部品調達難による所要減があったものの、国内の市販・工業用途向けが堅調で販売価格の見直しや円安効果も加わったことにより、前年同期を上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ5億32百万円減の212億99百万円となりました。

売上高構成比

**67.1%**  
(21,299百万円)

売上高 単位:百万円



### 電子事業

電子事業の売上高は各種モジュールやスイッチング電源などが増加したことにより、前年同期を上回りました。

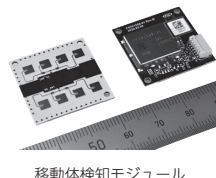
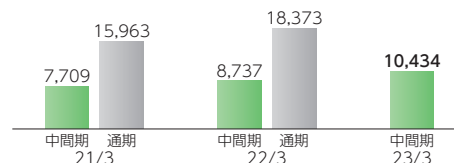
製品別につきましては、各種モジュールは、モビリティ・タブレット用途向けが増加したことにより、前年同期を上回りました。スイッチング電源は、半導体装置用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ16億96百万円増の104億34百万円となりました。

売上高構成比

**32.9%**  
(10,434百万円)

売上高 単位:百万円



## トピックス

### 湖西市と高崎市のふるさと納税返礼品に登録

当社が鷺津工場（静岡県湖西市）で生産している“ウルトラマン”および“ウルトラセブン”デザインのアルカリ乾電池と、高崎工場（群馬県高崎市）で生産しているニッケル水素電池が、2022年7月に「静岡県湖西市」、「群馬県高崎市」それぞれのふるさと納税返礼品として登録されました。

湖西市へのふるさと納税返礼品は、ウルトラマンデザインの単3形とウルトラセブンデザインの単4形のパック品となり、高崎市へのふるさと納税返礼品には、充電電池のニッケル水素電池の単3形と単4形のパック品の他、急速充電器とのセットもあります。

当社は、社会や地域貢献活動を継続的に行なうことで企業価値の向上に努め、今後も地域産業の活性化、地域振興の一助となるよう活動に取り組んでまいります。

©円谷プロ



ウルトラマンデザイン  
アルカリ乾電池単3形4本  
プリスターパック



ウルトラセブンデザイン  
アルカリ乾電池単4形4本  
プリスターパック



ニッケル水素電池（充電電池）  
単3形4本急速充電器セット

### ミニ四駆ジャパンカップの公式乾電池で大会サポート

当社は、模型メーカーの株式会社タミヤが主催するミニ四駆日本一決定戦「Powered by FDK ミニ四駆ジャパンカップ2022 Drive on コヨハマタイヤ」の大会スポンサーとして今年もサポートいたしました。

ミニ四駆ジャパンカップは1988年の初開催から今年で34年目を迎えるミニ四駆のビックタイトルで、2022年7月から全国各地12会場で予選大会を順次開催し、同年11月にチャンピオン決定戦が実施されました。今大会の公式コースは、新セクション「FDK ローリングライズ／ローリングフォール」（スロープ状のコーナー）を含めた角度の異なるアップダウンが各所に配置されたコース長219.6mのサーキットで、全国のミニ四駆レーサーの挑戦を受けました。

当社の富士通電池は、その高い性能と信頼性で、ミニ四駆ジャパンカップの公式乾電池に長年指定されている唯一のブランドです。一人ひとりのレーサーが情熱を込めてつくり上げたミニ四駆をしっかりと支える乾電池であり続けるために、さらなる性能と品質の向上に努めてまいります。

※ミニ四駆は株式会社タミヤの登録商標です。



2022年大会コース  
「DX ローリングサーキット 2022」



ミニ四駆ジャパンカップ決勝進出者  
限定デザインアルカリ乾電池

4月

5月

6月

7月

8月

9月

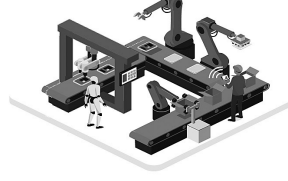
### 大型蓄電池向けニッケル水素電池用極板の出荷を開始

当社は、高出力大型円筒形ニッケル水素電池用極板を新たに開発し、2022年8月から海外メーカーへの量産出荷を開始いたしました。

当社は、1991年から31年間、「幅広い使用温度範囲」、「繰り返し充電できる」、「リサイクル性が高く環境にやさしい」、「高い安全性」といった特長を有するニッケル水素電池を、セキュリティ・車載・医療・家電など様々な用途向けに供給しています。

昨今の大量電力を長時間必要とする機器に搭載される蓄電池の大型化ニーズにお応えするため、電池構成の要となる正極および負極の材料や極板製法を徹底的に見直し、高品質かつ十分な特性を有する極板を開発いたしました。

また、本製品は、RoHS指令・電池指令（2006/66/EC）などの環境法令に準拠しております。



<大型ニッケル水素電池の主な用途例>

## ■ 連結財務の概況

### ■ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間期末 (2022年9月30日現在)	前期末 (2022年3月31日現在)
資産の部		
I 流動資産 <b>1</b>	32,452	31,995
II 固定資産	15,340	14,908
（有形固定資産）	14,627	14,032
（無形固定資産）	286	275
（投資その他の資産）	426	600
資産合計	47,793	46,903
負債の部		
I 流動負債	30,790	31,450
II 固定負債	3,097	2,992
負債合計	33,888	34,443
純資産の部		
I 株主資本	13,035	12,451
資本金	31,709	31,709
資本剰余金	26,225	26,225
利益剰余金	△44,848	△45,432
自己株式	△50	△50
II その他の包括利益累計額	862	2
その他有価証券評価差額金	30	43
為替換算調整勘定	2,297	1,564
退職給付に係る調整累計額	△1,465	△1,605
III 非支配株主持分	6	5
純資産合計 <b>2</b>	13,904	12,460
負債純資産合計	47,793	46,903

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨ててにより表示しております。

## POINT

### 1 流動資産

流動資産は、前期末に比べ4億57百万円（1.4%）増の324億52百万円となりました。その主な要因は、材料不揃いによる生産遅延や、原材料価格の高騰、電子部品や樹脂部品の調達難に伴う戦略的な先行手配などにより、仕掛品や原材料および貯蔵品などの棚卸資産が2億7百万円増加したことによるものです。

### 2 純資産合計

純資産合計は、前期末に比べ14億44百万円（11.6%）増の139億4百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が5億83百万円、為替換算調整勘定が7億33百万円、退職給付に係る調整累計額が1億39百万円それぞれ増加したことによるものです。

### ■ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
売上高	31,734	30,570
売上原価	26,408	24,455
売上総利益	5,325	6,114
販売費及び一般管理費	4,654	4,721
営業利益	670	1,392
営業外収益	356	99
営業外費用	187	189
経常利益	839	1,302
特別利益	200	472
特別損失	44	-
税金等調整前中間純利益	994	1,774
法人税、住民税及び事業税	214	287
法人税等調整額	196	45
中間純利益	584	1,441
非支配株主に帰属する 中間純利益又は非支配株主 に帰属する中間純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する 中間純利益 <b>3</b>	583	1,441

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨ててにより表示しております。

### ■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー <b>4</b>	1,416	1,735
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,065	△2,650
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△573	△3,135
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	252	71
V 現金及び現金同等物の増減額	30	△3,979
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,763	7,001
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	2,793	3,022

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨ててにより表示しております。

## POINT

### 3 親会社株主に帰属する中間純利益

電池事業はリチウム電池とニッケル水素電池、電子事業は各種モジュールの売上増による増益はありましたが、為替や原材料価格高騰による減益に加え、前年同期に親会社清算益4億59百万円を特別利益として計上したことや法人税等調整額1億51百万円の増加により、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期に比べ8億58百万円減の5億83百万円となりました。

### 4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少12億33百万円や法人税等の支払3億11百万円などによる資金の減少はありましたが、税金等調整前中間純利益の計上9億94百万円や減価償却費の計上11億27百万円、売上債権の減少7億26百万円による資金の増加などにより14億16百万円の資金増加となりました。

## FDKグループの概要

2022年11月1日現在

FDKグループは、各種一次・二次電池および蓄電デバイスならびにエレクトロニクス関連の素材・部品とそれらの応用製品・応用装置の製造および販売を主な事業としております。

### FDKグループの主要拠点

※工場・生産会社の [ ] 内は、主要生産品目です。

#### ● 当 社

本 社

◆東京都港区港南一丁目6番41号

工 場

**A**湖西工場 [トナー]

**B**高崎工場 [ニッケル水素電池、蓄電システム]

**C**鳥取工場 [リチウム電池]

**D**鷺津工場 [アルカリ乾電池]

営 業 所

①札幌営業所

②仙台営業所

③首都圏営業所

④名古屋営業所

⑤大阪営業所

⑥広島営業所

⑦福岡営業所

#### ● 当社グループ

国内生産会社

**1** (株) FDKエンジニアリング [各種製造設備]

海外生産会社

**1** XIAMEN FDK CORPORATION

中国・廈門 [スイッチング電源、各種モジュール、ニッケル水素電池・リチウム電池のパック電池]

**2** FUCHI ELECTRONICS CO., LTD.

台湾・桃園 [各種モジュール]

海外販売会社

FDK AMERICA, INC.

①米国・サニーベール

②米国・ダラス

FDK SINGAPORE PTE. LTD.

③シンガポール

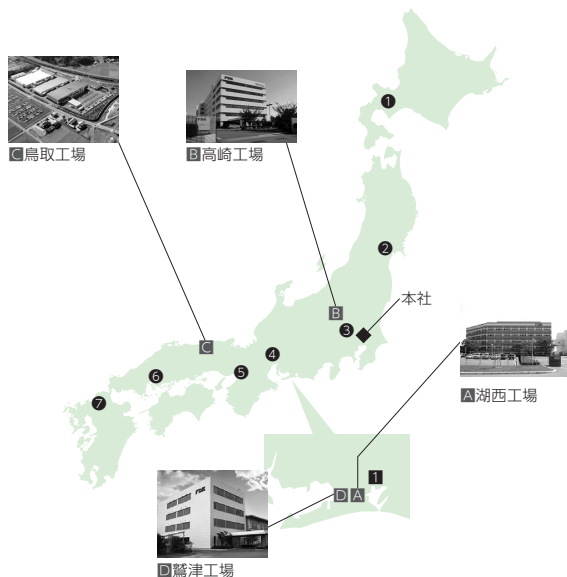
FDK HONG KONG LTD.

④中国・香港

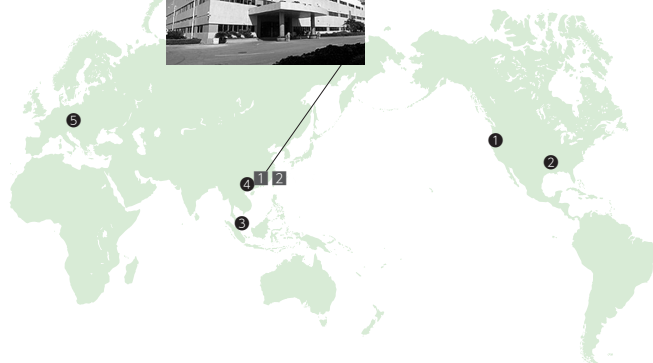
FDK ELECTRONICS GMBH

⑤ドイツ・ミュンヘン

(ほか、連結子会社1社)



**1** XIAMEN FDK CORPORATION



## 会社および株式の概要 2022年9月30日現在

### ■商 号 FDK株式会社

(英文社名：FDK CORPORATION)

■設 立 1950年(昭和25年)2月7日

■資 本 金 31,709,007,153円

■従業員数 1,638名 [FDKグループ：2,516名]

### ■主要製品

電池事業 アルカリ乾電池、ニッケル水素電池、リチウム電池、マンガン乾電池、蓄電システム、各種強力ライト、電池製造設備

電子事業 スwitching電源、トナー、各種モジュール

### ■役 員

#### ●取締役

地 位	氏 名
代表取締役社長	長 野 良
取 締 役	平 野 芳 晴
取 締 役	村 嶋 純 一
取 締 役	石 原 淳 児
監査等委員である取締役	木 下 高 志
監査等委員である取締役	藤 原 正 洋
監査等委員である取締役	粟 津 瑞 恵

- (注) 1. 取締役村嶋純一、監査等委員である取締役藤原正洋および粟津瑞恵の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 監査等委員である取締役木下高志氏は、常勤監査等委員である取締役であります。

### ■発行可能株式総数

株式の種類	発行可能株式総数
普 通 株 式	51,000,000株

### ■発行済株式の総数および株主数

株式の種類	発行済株式の総数	株主数(前期末比)
普 通 株 式	34,536,302株	18,775名(270名減)

### ■大 株 主

株 主 名	当社への出資状況		
	持株数(千株)	持株比率(%)	
富士通株式会社	普通株式	20,295	58.82
東京短資株式会社	普通株式	332	0.96
FDK取引先持株会	普通株式	142	0.41
田中 隆士	普通株式	140	0.41
田中 章吾	普通株式	125	0.36
西村証券株式会社	普通株式	105	0.30
松井証券株式会社	普通株式	90	0.26
中野 勇蔵	普通株式	90	0.26
ミネムラ合同会社	普通株式	78	0.23
auカブコム証券株式会社	普通株式	76	0.22

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨ててにより表示しております。  
2. 持株比率は、自己株式(29,937株)を控除して計算しております。

### ■所有者別株式数分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	(電話照会先)	電話 0120-232-711 (通話料無料)
定時株主総会	毎年6月	公告方法	電子公告
議決権の基準日	毎年3月31日		当社は公告を下記ホームページに掲載しております。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社		<a href="https://www.fdk.co.jp/kessan-j/index.html">https://www.fdk.co.jp/kessan-j/index.html</a>
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社		ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行ないます。
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		

### 株式が「特別口座」に眠っていませんか？

#### 1. 「特別口座」について

2009年1月に法令により株券の電子化が実施されましたが、その際、証券会社の口座に預けられていなかった当社株式については、現在、三菱UFJ信託銀行にある「特別口座」で管理されています。制度上、「特別口座」に管理されているままでは、証券市場で株式を売買することができない等の制約がございます。ご所有の株式が「特別口座」で管理されている株主様におかれましては、証券口座への振替をお願いいたします。

#### お心当たりございませんか？

- お手元に株券がある  
(証券会社に株式を預けていない)
- 配当金のご連絡通知に記載されている株式数と、証券会社に預けている株式数が一致しない

お心当たり  
ございましたら

株式が  
「特別口座」で  
管理されている  
可能性が  
ございます

◆ご所有の株式が「特別口座」で管理されているかご不明な株主様は、三菱UFJ信託銀行証券代行部 ☎0120-232-711) までお問い合わせください。  
(受付時間：土・日・祝祭日等を除く平日9：00～17：00)

#### 2. 「特別口座」にある株式の証券口座への振替方法

##### 証券会社に口座を開設する。

すでに証券会社に株式の取扱いができる口座をお持ちであれば、新たに開設いただく必要はありません。

##### 三菱UFJ信託銀行に振替用の請求用紙 「口座振替申請書」を請求する。

##### 請求用紙に必要事項を記入・押印して 三菱UFJ信託銀行に送付する。

これで手続きは完了です。  
証券会社の口座に株式が振替われます。

### 単元未満株式の買取請求のご案内

当社の単元株式数は100株となっておりますので、単元未満株式（1～99株）については、市場で売買することができませんが、当社に対して買取請求を行なうことができます。

#### ● 買取制度の例（60株ご所有の場合）

現在ご所有の単元未満株式

60株

(単元未満株式)

買取請求制度

当社株式60株を市場価格で当社へ売却し、  
代金を受領する。

60株

(単元未満株式)

¥

¥

¥

当社ホームページ

<https://www.fdk.co.jp/>

当社IR情報

<https://www.fdk.co.jp/kessan-j/index.html>

